

# お客さまとの信頼関係の構築

NECは、お客さまにとっての価値を社会的な視点で考え、お客さまとともに社会の課題解決に貢献していきます。全従業員が、お客さまにとっての価値をどのように最大化できるかを議論し、意識を共有する機会を設けているほか、お客さまの地域の社会課題にもICTを活用して貢献しています。

## 顧客価値、社会価値創造の最大化に向けた「NECグループバリューの日」

NECでは、創立記念日である7月17日を、自らが大切にしている4つの価値観Better Products, Better Services、イノベーションへの情熱、共創、自助を全従業員が再確認する「NECグループバリューの日」と位置づけています。お客さまの期待に応える価値とはどのようなものか、また、当事者意識を持って行動に移すマインドを醸成する機会の一つとして、その価値を最大化するには何をすべきかなどを職場単位で話し合っています。

また、2014年は、お客さまに提供する価値を意識して、お客さま・市場・社会に貢献し、NECグループの文化を育み高めることに貢献した社員やチームを表彰する「NEC Contributors of the Year」に「バリュー実践賞」を設定し、7組を表彰しました。

このうち、CS活動という観点で、「スポーツ祭東京2013」の運営や歩道清掃のボランティアに加え、社内の関連部門や江東区などと共同して、スマートフォン用の競技会場案内アプリを開発・提供したチームや、営業と工場が連携してものづくりのノウハウをお客さまに提供し、お客さまと一緒に生産革新活動を推進しているチームなどが表彰されました。



「NEC Contributors of the Year」表彰式

## 現地法人による開発途上国支援への取り組み

NECテレコムソフトウェア フィリピン社は、フィリピンでの社会貢献活動の一環として、独立行政法人 国際協力機構（JICA）とともに、同国と日本の高等学校の交流プログラムを支援しました。

世界で活躍できるコミュニケーション能力の向上を狙いとして、同国の技術教育モデル校の一つで、セブ島にあるSubangdaku Technical Vocational Schoolと千葉県立市川工業高等学校とをネットワークでつなぎ、お互いの文化や学び方の違いについて、意見交換しました。

生徒たちは、数学や体育など、両校共通の教科がたくさんあることに親近感を持った一方で、服装や言葉のアクセント、職業技術授業や専門コースのコマ数、授業で制作している作品などに違いがあることを、ICTを媒介としてリアルに実感していました。また、プログラム終了後、両校の生徒たちから、「自信を持って発言できるようになった」「英語でのコミュニケーションを楽しめるようになった」とのコメントが寄せられました。

当社は今後とも、事業活動を行う地域社会に密着した、グローバルな社会貢献活動をとらして、地域社会との信頼関係を構築していきます。



ネットワークを介した日本とフィリピンの高校生交流プログラム